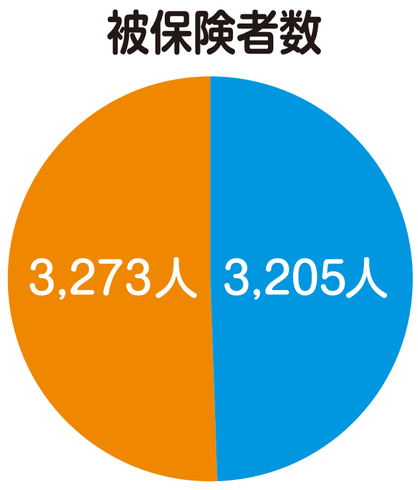
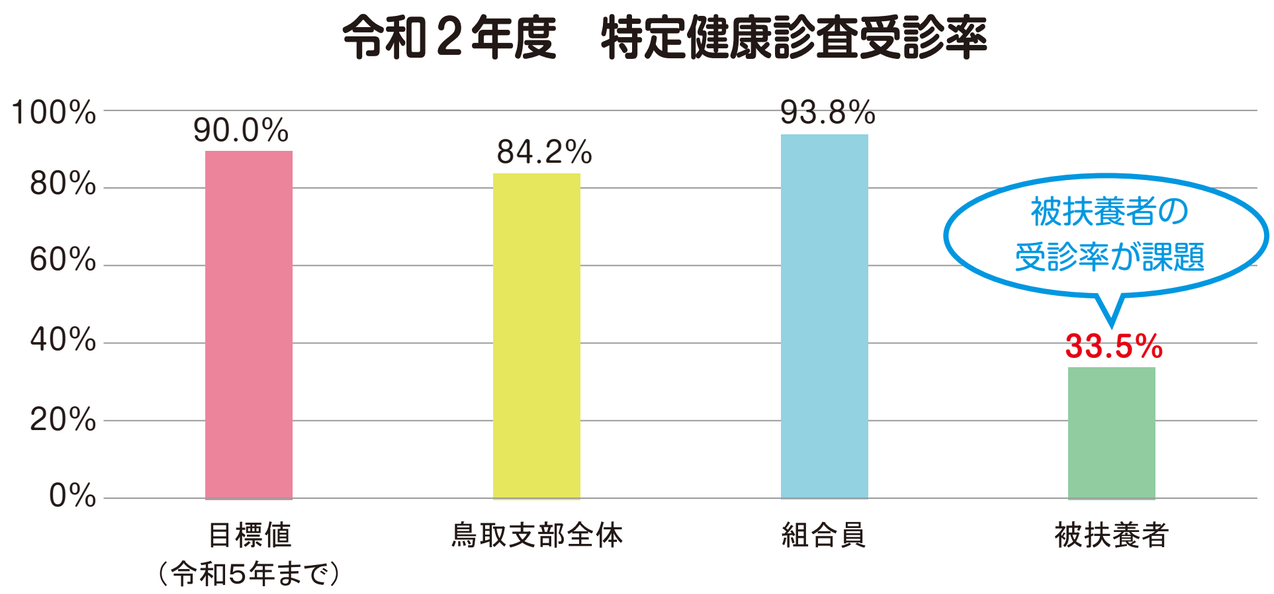
公立学校共済組合鳥取支部

公立学校共済組合は、公立学校、都道府県教育委員会及びその所管に属する教育機関の職員を組合員として組織され、組合員及び被扶養者を合算した加入者数が全国で 160 万人を超える保険者です。

公立学校共済組合鳥取支部の状況

被保険者数：6,478 人（令和 3 年度）
男性：3,205 人　　女性：3,273 人
被扶養者数：5,306 人





令和２年度の特定健康診査受診率は、支部全体の目標値 90%に対して 84.2%でした。組合員の受診率は 93.8%でしたが、被扶養者の受診率が 33.5%となっています。

生活習慣病対策

生活習慣の悪化は、糖尿病や高血圧だけでなく、がん、脳卒中、心臓病など多くの疾病の発症や進行に深く関わっています。

公立学校共済組合鳥取支部では、生活習慣病の予防を目的として、40歳以上の組合員及び被扶養者を対象とした特定健康診査、特定保健指導を実施しています。

また、組合員及び被扶養者へ健康読本を送付し個別に情報提供を行うなど、健康づくりに対する意識向上を働きかけています。

～生活習慣の改善が健康への第一歩！～

（健診をうけるメリット）

- 生活習慣病の早期発見
- 健康状態を継続して把握
- 生活習慣改善に取り組みやすい
- 重症化を未然に防ぐことにより、医療費の抑制につながる

特定保健指導受診率向上に向けた取り組み

特定保健指導の受診率の低さが当共済組合でも課題となっています。

公立学校共済組合鳥取支部では、特定健康診査、保健指導の受診率向上に向けて、広報誌に啓発記事を掲載し、組合員への意識付けを行っています。また、被扶養者の方に受診勧奨はがきを送付し受診を促しています。

また、従来の訪問型指導に加え、遠隔型面談を行うことにより組合員が利用しやすい環境整備に取り組んでいます。

また、健診当日の面談実施、セット券の送付等にも取り組んでいます。

健康増進に向けた取り組み

公立学校共済組合鳥取支部では、組合員の健康増進並びに生活習慣病の予防を目的として、組合員やその家族を対象に毎年健康管理セミナーを実施しており、多くの方々に参加いただき好評を得ています。ここでは、過去に実施したセミナー等をご紹介します。

- 「動画付き健康コラム（テーマ：肩こり、むくみ解消、睡眠、体幹トレーニング、体脂肪等）」
- 「健康づくりに関する講演とトレーニング体験」
- 「しなやかな心と体をつくるシルキーヨガ」
- 「今から始める！ロコモティブシンドローム」
- 「美しく歩いて痩せる！骨盤ウォーキングダイエット」
- 「いつまでも若々しくいるために～さびない身体の作り方～」（講演）　等